



写真提供：仙台市観光課

[ 第25回 ]

# 日本生殖内分泌学会 学術集会

プログラム・抄録集

2020年

12月12日<sup>土</sup>～25日<sup>金</sup>  
〈WEB開催〉

会長

伊藤 潔

東北大学災害科学国際研究所 災害産婦人科学分野 教授



## スイス バーゼルに拠点を置くMDPI社が 日本オフィスを設立しました

世界最大規模のオープンアクセス専門の学術出版社MDPIが東京にオフィスを新設しました。MDPIの迅速で丁寧な出版サービスを日本の研究者のみなさまに活用いただき、優れた研究成果がより速く世界に発信されるお手伝いができればと考えております。シンプルで透明性の高い投稿プロセスや、日本オフィススタッフの行き届いたサポートを通して、質の高いMDPIの出版サービスを体感していただければ幸いです。

### 1) MDPIサービスへのご質問を日本語で対応いたします

日英バイリンガルスタッフが、ご投稿・出版に関するお問い合わせからMDPI各種サービスへのご質問、印刷版装丁も含めた出版企画まで日本語で承ります。また、ご投稿いただいた論文が出版過程のどの段階を進行中か、すぐにお調べすることもできます。日本オフィスに在籍する編集実務者 (Assistant Editor) が、投稿から掲載までの実務での疑問点に丁寧にお答えします。

### 2) 英文校正サービス

ネイティブスピーカーによる文法修正プランと、専門用語を含めた校正プランを2種ご用意しております。3,000文字の論文の場合、文法修正プランではおよそ20,000円 (最短2営業日)、専門用語を含めた校正プランでは35,000円 (最短4営業日) からご案内しています。



**cancers**

IMPACT  
FACTOR  
6.126

#### 編集長からのメッセージ

*Cancers*は、ガン研究に関連する臨床と基礎科学を扱うオンラインジャーナルです。本誌はオープンアクセス形式を取っており、急速に発展する最先端の医学研究を素早く世界へ共有できるようにこれからも進化を続けていきます。本誌は主に、ガンの予防・発症・進行・治療に関する臨床や基礎研究、さらに近年急速に発展している免疫学や免疫療法、腫瘍微小環境とその周辺研究を取り扱っています。みなさまの投稿をお待ちしています。*Cancers*の特徴は、新規性の高い原著論文、深い洞察を与える臨床結果、重要な情報を共有するための速報論文、流行に合わせた総説論文を広く扱っているところにあります。また、本誌は厳密に設計された研究のネガティブデータも受け付けています。研究成果やデータを広く研究者間で共有し、腫瘍学の発展に貢献していきます。

Twitter: @Cancers\_MDPI



International Journal of  
**Molecular Sciences**

IMPACT  
FACTOR  
4.556

*International Journal of Molecular Sciences*は、生化学・分子生物学・分子医学などの化学的観点に基づく分子科学の最先端研究を取り扱うオープンアクセスジャーナルです。生物学・生化学・医学分野における理論研究や実験、また計算機科学を用いた研究など幅広い対象の革新的あるいは基礎的研究成果を掲載しています。

Twitter: @IJMS\_MDPI



Journal of  
**Clinical Medicine**

IMPACT  
FACTOR  
3.303

*Journal of Clinical Medicine*は、ヘルスケア・臨床・医学一般に関する研究を取り扱うオープンアクセスジャーナルです。本誌は、医学研究者や医療従事者を読者として想定しています。内科疾患・外傷の臨床や治療法、臨床ガン研究におけるゲノミクス・プロテオミクス・バイオインフォマティクス、神経・精神疾患、皮膚科、感染症、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、婦人科、放射線医学、リハビリテーションなど幅広い医療分野を対象にした研究成果を掲載しています。

Twitter: @JCM\_MDPI



Journal of  
**Personalized  
Medicine**

IMPACT  
FACTOR  
4.433



**biomedicines**

IMPACT  
FACTOR  
4.717



**viruses**

IMPACT  
FACTOR  
3.816

お問い合わせ先:

MDPI Japan (東京支社)

〒103-0004

東京都中央区東日本橋2-23-3 MYS東日本橋4階

Email: [tokyo@mdpi.com](mailto:tokyo@mdpi.com) Tel: 03 5829 3835

MDPIの医学誌一覧はこちら



## 第25回日本生殖内分泌学会学術集会を迎えて



第25回日本生殖内分泌学会学術集会

会長 伊藤 潔

東北大学災害科学国際研究所 災害産婦人科学分野 教授

この度、第25回日本生殖内分泌学会学術集会を、2020年12月12日（土）～25日（金）、WEB開催で、行わせていただきます。当初は12月12日（土）、13日（日）の二日間、東北大学医学部長陵会館（仙台市）で開催予定でしたが、今般の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、参加者の皆様の健康と安全を考慮した結果、現地開催を中止し、WEB上での開催形式へ変更させていただくこととなりました。現地でのご参加を予定されていた皆様・関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

本学術集会では、毎年、生殖内分泌領域に関連した多彩な基礎的、臨床的な研究成果が発表され、活発な議論が行われております。今回も、学術集会の開催を通じて、幅広い視点から、生殖内分泌学の基礎と臨床の発展に貢献できますよう、鋭意準備を進めさせていただきました。

特別講演としては幅広い領域から3演題を予定し、福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座主任教授 志村浩己先生から「震災後10年を迎える福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現在と得られたエビデンス」、聖マリアンナ医科大学産婦人科学講座教授 鈴木直先生から「小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状—社会的、臨床的ならびに基礎的課題」、そして秋田大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座教授 寺田幸弘先生から「ヒト胚发育の細胞生物学、内分泌学：ARTラボで有益な最新情報とその未来」と題したご講演をお願いしております。

また、今回は教育講演を2演題準備し、東北大学大学院医学系研究科病理検査学分野講師 高木清司先生から「ホルモン依存性腫瘍の免疫および内分泌環境」、東北大学災害科学国際研究所災害産婦人科学分野講師 三木康宏先生から「令和パンデミックの今、大正パンデミックを計量書誌学的に考察する」と題した話をいただきます。

一般演題も、コロナ禍の社会情勢にもかかわらず、35演題のご応募をいただきました。感謝申し上げます。

WEB開催ではありますが、参加される皆様方にとって本学術集会が、生殖内分泌領域の研究・診療での新たな発展・展開となる一助になりますことを願っております。

皆様方のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

## 参加者へのご案内

### 【参加者の皆様へ】

- 本学術集会は、下記要領による WEB 開催となります（現地での開催はございません）。  
会 期：2020年12月12日（土）12：00～12月25日（金）12：00  
配信方式：オンデマンド配信  
特別講演・教育講演は、動画形式でオンデマンド配信いたします。  
一般演題（学術奨励賞候補演題含む）は静止画のスライドショー形式で配信いたします。  
学術奨励賞候補演題については上記発表データをもとに選考発表会を行い、発表の様子は12月18日（金）から動画形式で配信予定です。
- WEB での大会参加にはオンライン参加登録が必要です。学術集会ホームページよりオンライン参加登録をお願いいたします。  
オンライン参加登録を行うことで、WEB 会期中は何度でも発表データを視聴・閲覧することができます。  
参加登録完了後、ID・パスワードが発行されますので、視聴システムにログインしご視聴ください。
- WEB 視聴時の撮影、コピー、データのダウンロード等は固く禁止いたします。

### 【オンライン参加登録】

参加費：会 員	10,000円
非会員	12,000円
学部学生・初期研修医・胚培養士	5,000円

- ・学術集会ホームページ（<http://jsre.umin.jp/shuukai.htm>）よりオンライン参加登録をお願いします。  
学部学生・初期研修医・胚培養士の方は、参加登録の際に、身分証明書または所属長捺印のある在職証明書のコピーをメールにて運営事務局（25jsre2020@congre.co.jp）までご提出いただきますようお願いいたします。
- ・「参加証・領収書」は視聴システム内の Mypage よりダウンロード、印刷いただけます。  
参加証・領収書がダウンロードできるのは、オンライン参加登録の完了時点から会期終了の12月31日（木）12：00までとなりますので、ご注意ください。

### 【各種単位について】

- 日本産科婦人科学会専門医研修出席証明および日本専門医機構学術集会参加単位  
以下の両方に該当する方に付与されます。
  - ・オンライン参加登録時に「日本産科婦人科学会専門医研修出席証明および日本専門医機構学術集会参加単位」の項目で「希望します」を選択した方（「日本産科婦人科学会 会員番号」のご入力も必須となります）。
  - ・12月12日（土）～12月18日（金）までの期間に、特別講演1－3のいずれかの講演動画を視聴した方。
- 日本産婦人科医会  
研修参加証は従来どおりのシールでの発行となります（2枚）。以下に該当する方を発行対象といたします。
  - ・オンライン参加登録時に「日本産婦人科医会 研修参加証」の項目で「希望します」を選択した方。（郵送先はオンライン参加登録時にご登録いただいた住所となります）

●日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医

・参加単位について

内分泌代謝科専門医資格を取得されている方は、学術集会へのご参加で、参加単位（5単位）が取得できます。

単位登録票は準備していませんので、更新時まで動画視聴システム内の Mypage から発行される参加証を保存していただき、更新申請書と一緒にコピーを日本内分泌学会事務局にご提出ください（更新申請書は日本内分泌学会事務局よりお送りいたします）。

・指定講演聴講単位について

下記の特別講演1（指定講演）を受講された方は、指定講演聴講単位（2単位）が取得できます。

専攻医の方は、専門医申請に必要な指定講演聴講単位（内科領域）として申請が可能です。

以下の両方に該当する方に受講証明書を発行いたします。

- ・オンライン参加登録時に「日本内分泌学会 指定講演聴講単位」の項目で「希望します」を選択した方。
- ・WEB開催（オンデマンド配信）期間中、下記の講演動画をはじめから最後まで視聴完了した方。（視聴後にアンケートに回答する必要があります。講演動画サムネイルの下にあるリンクボタンまたは学術集会ホームページからアンケートフォームに移動し、12月25日（金）までに回答を入力してください）

特別講演1 震災後10年を迎える福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現在と得られたエビデンス	2単位
--	-----

●日本生殖医学会 生殖医療専門医

以下に該当する方に付与されます。

- ・オンライン参加登録時に「日本生殖医学会生殖医療専門医更新ポイント」の項目で「希望します」を選択した方（「日本生殖医学会 会員番号」または「生殖医療専門医の専門医番号」のご入力も必須となります）。

**日本専門医機構 単位付与講習について**

●産婦人科領域講習について

以下の両方に該当する方に付与されます（予定）。

- ・オンライン参加登録時に「領域講習（産婦人科）単位」の項目で「希望します」を選択した方。
- ・12月12日（土）～12月18日（金）までの期間に、下記の特別講演のそれぞれの講演動画をはじめから最後まで視聴完了した方。（視聴後にアンケートに回答する必要があります。講演動画サムネイルの下にあるリンクボタンまたは学術集会ホームページからアンケートフォームに移動し、12月18日（金）までに回答を入力してください）

※合計2単位まで取得可能です。

特別講演2 小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状－社会的、臨床的ならびに基礎的課題	1単位
特別講演3 ヒト胚発育の細胞生物学、内分泌学：ART ラボで有益な最新情報とその未来	1単位

●泌尿器科領域講習について

以下の両方に該当する方に受講証明書を発行いたします。

- ・オンライン参加登録時に「領域講習（泌尿器科）単位」の項目で「希望します」を選択した方。
- ・WEB開催（オンデマンド配信）期間中、下記の講演動画をはじめから最後まで視聴完了した方。（視聴後にアンケートに回答する必要があります。講演動画サムネイルの下にあるリンクボタンまたは学術集会ホームページからアンケートフォームに移動し、12月25日（金）までに回答を入力してください）

特別講演 2 小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状－社会的、臨床的ならびに基礎的課題	1単位
---	-----

**【各種委員会のご案内】**

すべてオンラインでの開催となります。

学術奨励賞選考発表会	12月13日（日）10：30～12：00
学術奨励賞選考委員会	12月13日（日）12：15～12：45
評議員会	12月13日（日）13：40～14：10
総 会	12月13日（日）14：10～14：30

学術集会に関するお問い合わせは下記運営事務局までお願いいたします。

第25回日本生殖内分泌学会学術集会 運営事務局  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング  
株式会社コングレ 東北支社内  
TEL：022-723-3211 FAX：022-723-3210 E-mail：25jsre2020@congre.co.jp

◆ 特別講演 1

「震災後10年を迎える福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現在と得られたエビデンス」

志村 浩己

福島県立医科大学 医学部臨床検査医学講座 主任教授／  
放射線医学県民健康管理センター 部門長

◆ 特別講演 2

「小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状－社会的、臨床的ならびに基礎的課題」

鈴木 直

聖マリアンナ医科大学 産婦人科学講座 教授

◆ 特別講演 3

「ヒト胚発育の細胞生物学、内分泌学：ARTラボで有益な最新情報とその未来」

寺田 幸弘

秋田大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学講座 教授

◆ 教育講演 1

「ホルモン依存性腫瘍の免疫および内分泌環境」

高木 清司

東北大学 大学院医学系研究科 病理検査学分野 講師

◆ 教育講演 2

「令和パンデミックの今、大正パンデミックを計量書誌学的に考察する」

三木 康宏

東北大学災害科学国際研究所 災害産婦人科学分野 講師

◆ 学術奨励賞候補演題

座長：東村 博子（名古屋大学大学院生命農学研究科）  
村上 節（滋賀医科大学産科学婦人科学講座）

1. 室傍核ダイノルフィンニューロンがグルコース利用阻害による生殖機能抑制を仲介する

土田 仁美  
名古屋大学生命農学研究科

2. 子宮内膜間質細胞の脱落膜化過程における細胞老化とプロゲステロン受容体膜構成因子1との関係

吉江 幹浩  
東京薬科大学 薬理学教室

3. 卵巣組織から分離した顆粒膜前駆細胞様細胞を用いた卵子幹細胞の体外分化誘導法の開発

赤堀 太一  
埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

4. mTOR 阻害剤による卵巣予備能温存法の開発

佐藤 可野  
国際医療福祉大学医学部産婦人科 高度生殖リサーチセンター

5. 黄体形成ホルモン異常高値がヒト胞状卵胞発育および卵子の質に与える負の影響の可能性

田中 佑佳  
フェニックスアートクリニック

6. 加齢に伴い精子形成不全を呈する *Nrg1<sup>fllox/fllox</sup>;Cyp19a1-Cre* マウスの精巣間質における脂肪細胞蓄積

富谷 千尋  
広島大学 大学院統合生命科学研究科

7. ラット胎児脳初代培養細胞を用いた脳内アクチビン、インヒビン、フォリスタチン制御に関する検討

岡田 裕枝  
島根大学医学部産科婦人科

◆ 第1群：中枢

8. 弓状核特異的 *Kiss1* レスキュー/ノックアウトラットを用いた GnRH パルスジェネレーター の同定

長江 麻佑子  
名古屋大学大学院生命農学研究科

9. 雌ヤギ由来 KNDy ニューロンおよび GnRH ニューロン不死化細胞株の樹立

松田 二子  
東京大学大学院農学生命科学研究科

10. 抗ミューラー管ホルモンの下垂体ゴナドトロピン産生細胞に対する作用について

折出 亜希  
島根大学医学部産科婦人科

11. 高プロラクチン血症の治療をすれば IVF 成績は改善するか？

佐藤 学  
IVF なんばクリニック

◆ 第2群：子宮

12. 転写因子 Wilms tumor 1 (WT1) は子宮内膜間質細胞脱落膜化における脂質蓄積を制御する

田村 功  
山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座

13. ヘルパーT細胞から分泌された interleukin-9は子宮内膜症間質細胞の interleukin-8の発現を亢進させる

垂水 洋輔  
京都府立医科大学大学院 女性生涯医科学

14. 子宮内膜症及び腺筋症におけるエストロゲン合成・代謝酵素の発現

近藤 悠人  
東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野

15. 子宮内膜細胞における CXCR4-CXCL12経路活性化と上皮間葉系転換

福島 優太  
東京薬科大学 薬理学

◆ 第3群：卵巣 I

16. 卵管切除術は卵巣予備能低下に影響を及ぼすのか？～システマティックレビューによる検討～

小林 未央  
群馬大学医学部附属病院

17. 抗ミューラー管ホルモン (AMH) は採卵数を予測できるか？

勝 佳奈子  
IVF なんばクリニック

18. 日本人における多嚢胞性卵巣症候群患者の特徴と不妊治療成績

井上 朋子  
HORAC グランフロント大阪クリニック

◆ 第4群：卵巣Ⅱ

19. 高齢マウス胚での細胞老化関連分泌因子 CXCL5の発現増加と妊娠率の低下

川越 雄太  
国際医療福祉大学 医学部 産婦人科

20. 卵巣-血管コミュニケーションの破綻が二次卵胞への FSH 供給を阻害し、卵巣発育の停滞に伴う Low responder を引き起こす

梅原 崇  
広島大学 大学院統合生命科学研究科

21. グルココルチコイドによる卵巣ステロイド合成調節と BMP 分子の関与

樫野 千明  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学

22. PARP 阻害薬は卵巣機能へ影響を与える

中村 健太郎  
聖マリアンナ医科大学 産婦人科学

◆ 第5群：周産期と内分泌

23. 異なる卵胞径より得られた卵の発育および周産期・新生児予後についての検討

城崎 舞  
山口大学大学院医学系研究科産科婦人科

24. ヒト胎盤由来の新たな糖新生促進ホルモン (Placensin) の同定とその機能解析

河村 和弘  
国際医療福祉大学医学部

25. 妊婦および新生児におけるマクロ TSH 血症と甲状腺機能の相関

合阪 幸三  
御茶ノ水・浜田病院 産婦人科

26. 産後の母親の早朝覚醒時のメラトニン減少の位相と心的ストレスとの関係

工藤 直子  
秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻

◆ 第6群：がんと生殖・内分泌

27. 精巣がんサバイバーにおける生殖医療の現状

山下 慎一  
東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野

28. ヒト前立腺癌におけるグルココルチコイド受容体 (GR) の発現状況と臨床病理学的意義

端 秀子  
東北医科薬科大学 医学部 病理学教室

29. 前立腺癌における Rac1 および ARHGAP15 の発現意義

佐藤 和  
東北大学 大学院医学系研究科 病理検査学分野

30. 子宮内膜癌における Dehydroepiandrosterone の直接作用に関する検討

三木 康宏  
東北大学災害科学国際研究所 災害産婦人科学分野

31. Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein K がエストロゲンシグナルに及ぼす影響の検討

岩渕 英里奈  
東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野

◆ 第7群：症例

32. 先天性副腎過形成による高度乏精子症に対してステロイドの変更で改善を認めた1例

大西 篤史  
神戸大学大学院医学研究科腎泌尿器科学

33. 全身性肥満細胞症患者に対して卵巣組織凍結目的に腹腔鏡下卵巣摘出術を施行した1例

村上 真由子  
名古屋大学医学部附属病院 産婦人科

34. 診断に苦慮した卵巣 Sertoli-Leydig 細胞腫合併不妊症の一例

平賀 裕章  
東北大学病院産婦人科

35. 卵巣嚢腫を呈する P450酸化還元酵素欠損症 (PORD) の薬物療法に難渋した一例

齋藤 淳一  
東北大学病院 婦人科

## 謝 辞

本学術集会の開催にあたりまして、下記企業・団体より多大なるご支援を賜りました。  
ここに謹んで御礼申し上げます。

### 【協賛企業一覧】

あすか製薬株式会社  
株式会社あすか製薬メディカル  
アストラゼネカ株式会社  
アレクシオンファーマ合同会社  
MDPI JAPAN G.K.  
中外製薬株式会社  
株式会社ツムラ  
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
バイエル薬品株式会社  
持田製薬株式会社  
持田製薬販売株式会社  
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社  
(五十音順)

### 【寄付一覧】

公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団  
一般社団法人 仙台市医師会  
宮城県産婦人科医会  
仙台産婦人科医会  
公益財団法人 宮城県対がん協会

### 【共 催】

第648回宮城産科婦人科学会集談会

日本生殖内分泌学会学術集会歴代会長

回数(開催年度)			開催日	会 長	所 属	分 野	開催地/会場
1	1996年度	平成8年度	H8.12.6	石居 進	早稲田大学	生物学(1)	東京 早稲田大学講堂
2	1997年度	平成9年度	H9.11.22	水口 弘司	横浜国立大学	産婦人科(2)	横浜 パシフィコ横浜
3	1998年度	平成10年度	H10.11.26-27	奥山 明彦	大阪大学	泌尿器科(3)	大阪 大阪大学講堂
4	1999年度	平成11年度	H11.9.29-30	高橋 迪雄	東京大学	農学生命科学(1)	仙台 国際交流センター
5	2000年度	平成12年度	H12.12.1	青野 敏博	徳島大学	産婦人科(2)	大阪 千里ライフサイエンスセンター
6	2001年度	平成13年度	H13.11.16	宮地 幸隆	東邦大学	内科(3)	東京 砂防会館
7	2002年度	平成14年度	H14.12.5	岡村 均	熊本大学	産婦人科(2)	大阪 千里ライフサイエンスセンター
8	2003年度	平成15年度	H15.11.29	貴邑富久子	横浜国立大学	第二生理学(1)	横浜 パシフィコ横浜
9	2004年度	平成16年度	H16.11.27	玉舎 輝彦	岐阜大学	産婦人科(2)	大阪 千里ライフサイエンスセンター
10	2005年度	平成17年度	H17.11.3	塚本 泰司	札幌医科大学	泌尿器科(3)	東京 全共連会館
11	2006年度	平成18年度	H18.11.25	峯岸 敬	群馬大学	産婦人科(2)	東京 砂防会館
12	2007年度	平成19年度	H19.10.19	田谷 一善	東京農工大学	獣医生理学(1)	東京 東京大学弥生講堂
13	2008年度	平成20年度	H20.11.29	寺川 直樹	鳥取大学	産婦人科(2)	大阪 大阪国際会議場
14	2009年度	平成21年度	H21.11.28	倉智 博久	山形大学	産婦人科(2)	東京 シェーンバッハ・サボー
15	2010年度	平成22年度	H22.11.20-21	並木 幹夫	金沢大学	泌尿器科(3)	大阪 千里ライフサイエンスセンター
16	2011年度	平成23年度	H23.11.19	宮本 薫	福井大学	分子生体情報学(1)	東京 シェーンバッハ・サボー
17	2012年度	平成24年度	H24.12.8	吉村 泰典	慶應義塾大学	産婦人科(2)	東京 東京ステーションコンファレンス
18	2013年度	平成25年度	H25.12.7	緒方 勤	浜松医科大学	小児科(3)	東京 シェーンバッハ・サボー
19	2014年度	平成26年度	H27.1.10	北脇 城	京都府立医科大学	産婦人科(2)	大阪 千里ライフサイエンスセンター
20	2015年度	平成27年度	H28.1.9	藤澤 正人	神戸大学	泌尿器科(3)	兵庫 神戸国際会議場
21	2016年度	平成28年度	H29.1.14	杉野 法広	山口大学	産婦人科(2)	大阪 千里ライフサイエンスセンター
22	2017年度	平成29年度	H29.9.30	前多敬一郎	東京大学	動物育種繁殖学(1)	沖縄 沖縄コンベンションセンター
23	2018年度	平成30年度	H30.12.14-15	檜原 久司	大分大学	産婦人科(2)	福岡 福岡国際会議場
24	2019年度	平成31年度	R1.1.11-12	市川 智彦	千葉大学	泌尿器科(3)	東京 砂防会館別館会議場
25	2020年度	令和2年度	R2.12.12-25	伊藤 潔	東北大学	産婦人科(2)	仙台 WEB開催

## 中外製薬のがん領域製品ラインナップ

抗悪性腫瘍剤／抗PD-L1<sup>注1)</sup>ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# テセントリク<sup>®</sup>点滴静注 1200mg\*

アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF<sup>注3)</sup>ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# アバズチン<sup>®</sup>点滴静注用 100mg/4mL 400mg/16mL

ベバシズマブ(遺伝子組換え)注

光線力学診断用剤

処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# アラグリオ<sup>®</sup>顆粒剤分包 1.5g\*\*\*

アミノレブリン酸塩酸塩顆粒剤

遺伝子組換えヒトG-CSF製剤

生物由来製品、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# イトロジン<sup>®</sup>注 50μg 100μg 250μg

レノグラスチム(遺伝子組換え)製剤

抗悪性腫瘍剤／ALK<sup>注4)</sup>阻害剤

劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# アレセンサ<sup>®</sup>カプセル 150mg

アレクチニブ塩酸塩カプセル

抗HER2<sup>注5)</sup>ヒト化モノクローナル抗体 抗悪性腫瘍剤

生物由来製品、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# ハーセプチン<sup>®</sup>注射用 60

トラスツマブ(遺伝子組換え)製剤

抗悪性腫瘍剤 ヒト化抗CD20モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# ガザイバ<sup>®</sup>点滴静注 1000mg\* \*\*\*\*

オビヌツマブ(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤／抗HER2<sup>注5)</sup>ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# パージェタ<sup>®</sup>点滴静注 420mg/14mL\*

ペルツマブ(遺伝子組換え)注

抗HER2<sup>注5)</sup>抗体チューブリン重合阻害剤複合体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# カドサイラ<sup>®</sup>点滴静注用 100mg\* 160mg

トラスツマブ エムタンシン(遺伝子組換え)注

抗CD20モノクローナル抗体

生物由来製品、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# リツキサン<sup>®</sup>点滴静注 100mg\*\* 500mg

リツキシマブ(遺伝子組換え)製剤

抗悪性腫瘍剤

劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# ゼロータ<sup>®</sup>錠 300\*

カペシタビン錠

抗悪性腫瘍剤

上皮増殖因子受容体(EGFR)チロシンキナーゼ阻害剤

劇薬、処方箋医薬品<sup>注2)</sup> **薬価基準収載**

# タルセバ<sup>®</sup>錠 25mg 100mg 150mg

エルロチニブ塩酸塩錠

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

注1) PD-L1: Programmed Death-Ligand 1

注2) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

注3) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)

注4) ALK: Anaplastic Lymphoma Kinase(未分化リンパ腫キナーゼ)

注5) HER2: Human Epidermal Growth Factor Receptor Type 2  
(ヒト上皮増殖因子受容体2型、別称: c-erbB-2)

\*の®はF.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標

【資料請求先】

中外製薬株式会社  
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

\*\*【製造販売元】 【資料請求先】

全薬工業株式会社  
〒112-8650 東京都文京区大塚5-6-15

\*\*\*【製造販売元】 【資料請求先】

SBIファーマ株式会社  
〒106-6020 東京都港区六本木一丁目6番1号

\*\*\*\*【販売】 【資料請求先】

日本新薬株式会社  
〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

医療・健康ニーズに応じて、  
人々の健康・福祉に  
いっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。  
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



MOCHIDA

持田製薬株式会社

<http://www.mochida.co.jp/>



**ULD 新発売**

月経困難症治療剤

処方箋医薬品<sup>注)</sup>

# フリウエル<sup>®</sup> 配合錠LD/ULD「モチダ」

(ノルエチステロン・エチニルエストラジオール配合製剤)

薬価基準収載

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細は添付文書をご参照ください。



販売<資料請求先>

**持田製薬株式会社**

東京都新宿区四谷1丁目7番地  
TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)



製造販売元

**持田製薬販売株式会社**

東京都新宿区四谷1丁目7番地

2018年12月作成 (N13)



黄体ホルモン製剤

## ルテウム<sup>®</sup> 腔用坐剤400mg

LUTEUM<sup>®</sup> VAGINAL SUPPOSITORY プロゲステロン製剤

処方箋医薬品<sup>※</sup>

薬価基準未収載

## HMG筋注用75単位・150単位「あすか」

HMG INTRAMUSCULAR INJECTION ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン剤

生物由来製品、処方箋医薬品<sup>※</sup>

薬価基準収載

卵胞成熟ホルモン(FSH)製剤

## uFSH注用75単位・150単位「あすか」

uFSH INJECTION 精製下垂体性性腺刺激ホルモン

生物由来製品、処方箋医薬品<sup>※</sup>

薬価基準収載

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

- 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

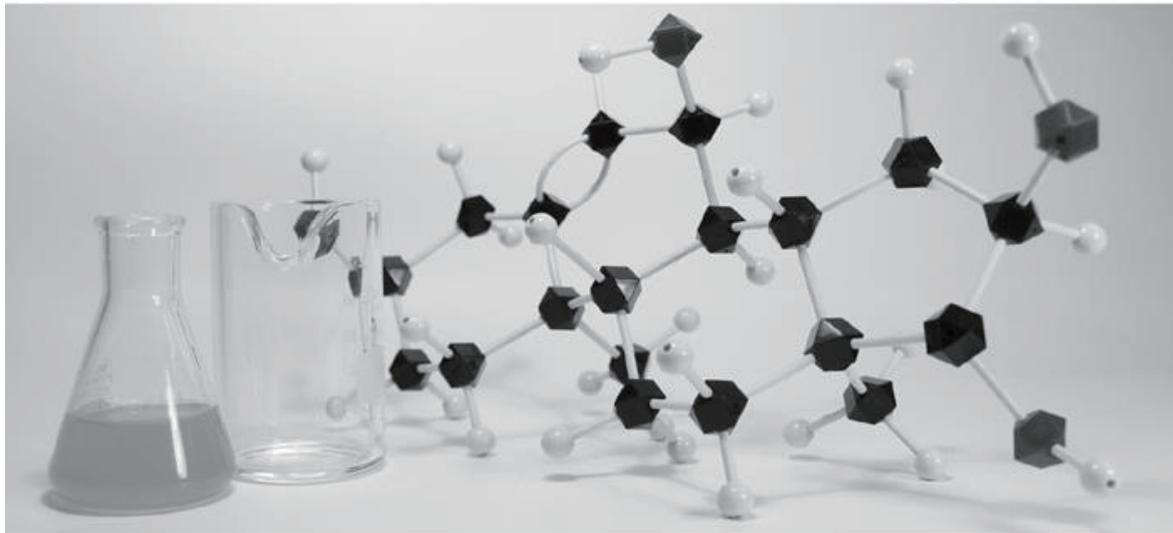


製造販売元[文献請求先及び問い合わせ先]  
あすか製薬株式会社  
東京都港区芝浦二丁目5番1号

販売  
武田薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町四丁目1番1号

2019年12月作成

## 先進的な検査を通して 明日の医療と研究を支援します



内因性ホルモンを特異性の高い  
LC-MS/MSにて測定いたします。

従来、測定が困難であった多様なマトリックスにも  
対応いたします。



あすか製薬グループ

株式会社 あすか製薬メディカル

URL: <https://www.ap-med.co.jp/>

〒251-8555

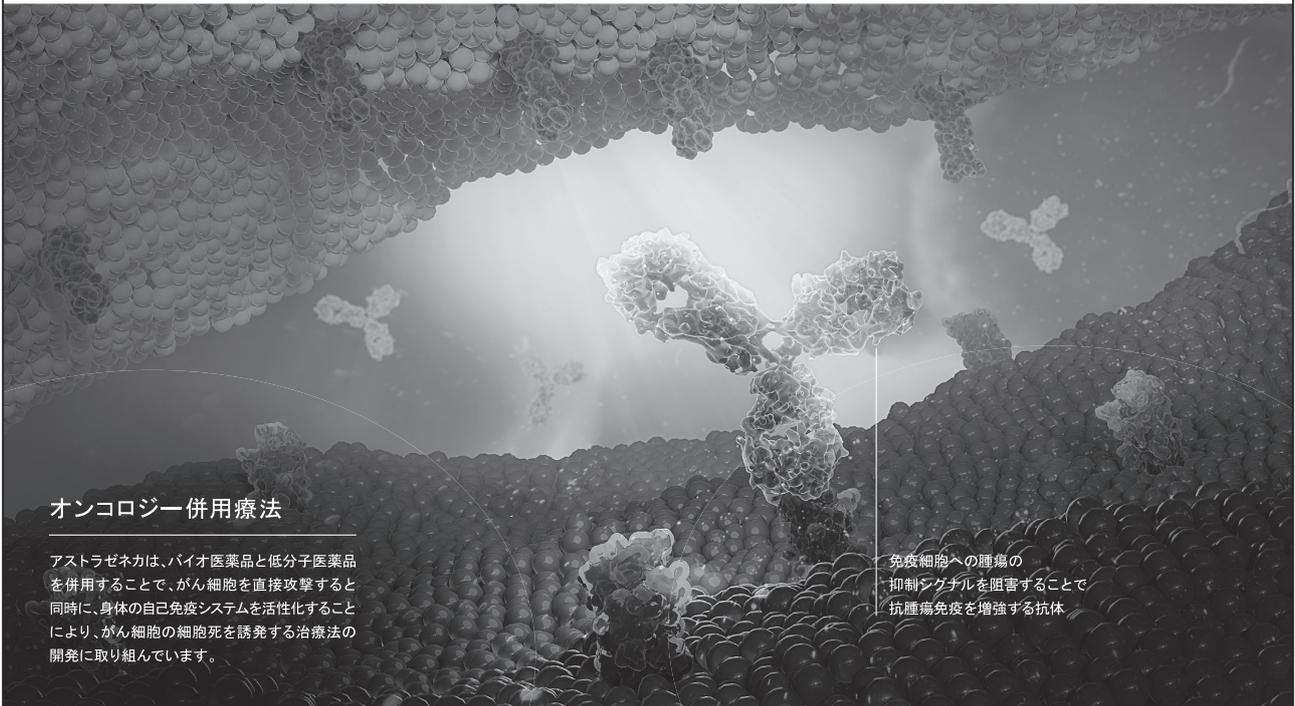
神奈川県藤沢市村岡東二丁目26-1

湘南ヘルスイノベーションパーク内

TEL: 0466-77-8336

E-mail: [kensa-med@ap-med.co.jp](mailto:kensa-med@ap-med.co.jp)

## What science can do



### オンコロジー併用療法

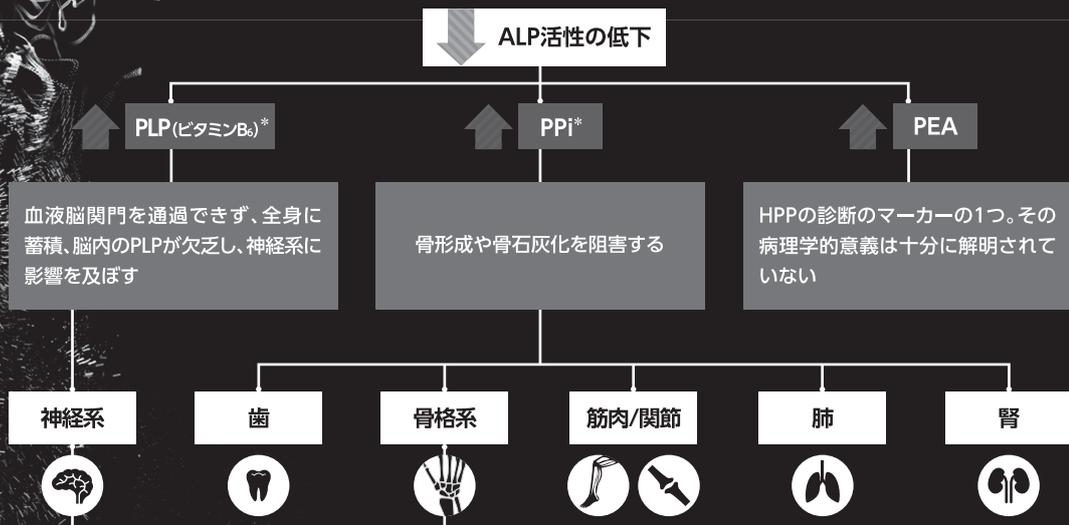
アストラゼネカは、バイオ医薬品と低分子医薬品を併用することで、がん細胞を直接攻撃すると同時に、身体の自己免疫システムを活性化することにより、がん細胞の細胞死を誘発する治療法の開発に取り組んでいます。

免疫細胞への腫瘍の抑制シグナルを阻害することで、抗腫瘍免疫を増強する抗体

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪府北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーB  
www.astrazeneca.co.jp/

## 低ホスファターゼ症 (HPP) はALPの活性低下により、骨・全身・生命に影響を及ぼす遺伝性代謝性疾患です



\*PPI (無機ピロリン酸)、PLP (ピリドキサル5'-リン酸) は現在日本では測定できません。  
PEA: ホスホエタノールアミン

お問い合わせ | アレクシオンファーマ合同会社 メディカル インフォメーション センター  
受付時間: 9:00~18:00 (土、日、祝日及び当社休業日を除く) フリーダイヤル 0120-577657

ALEXION®

HPP-AD3(1)-1610

# 漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、  
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした  
漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。  
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

## 自然と健康を科学する。漢方のツムラです。



www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。  
【医療関係者の皆様】0120-329-970 【患者様・一般のお客様】0120-329-930  
受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日は除く)

(2019年5月制作)RSCAb01-D ©

## BD シュアパス™

### 液状化検体細胞診システム

## 細胞診の真価。

明日の命のために、今できること。



BD シュアパス™ 法は、検体採取器具の先端を容器に落とすだけで、  
採取した細胞の**100%**を検査室へ送るため、細胞のロスを減らします。

バイアルに採取した検体は、BD Onclarity™ HPV キット\*での**HPV検査**にご使用いただけます。

\*BD Onclarity™ HPV キットはハイリスクHPV型の6種を単独で、8種を3つのグループで判別可能なHPV検査です。

販売名:BD Onclarity HPV キット 製造販売承認番号:22900EZ00043000

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地

本社:〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ

カスタマーサービス ☎0120-8555-90 FAX:024-593-3281

[bd.com/jp/](http://bd.com/jp/)



BD, the BD Logo, SurePath and Onclarity are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2020 BD. All rights reserved.



# より良い明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされない願い」に応えるため、  
革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。  
医薬品の開発を通じて人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://byl.bayer.co.jp/>

Science for a better life

PP-GEN-JP-0061-03-07



## cobas® pro integrated solutions 働き方を見つめなおす、ロシュの次世代ハイブリッド。

検査室で働く人々への負担が、日々、増していく中で、  
ロシュの生化学・免疫統合型分析装置は、次世代ソリューションへと  
進化を遂げました。High Speed, High Quality, High Efficiencyといった、  
基本性能を備えながら、検査技師のみならず、より臨床に近い仕事に  
集中できる機能を搭載。いま「Intelligent Automation」をカタチにした、  
新たなコバスが動き始めます。

Find out more on  
[diagnostics.roche.com](https://diagnostics.roche.com)



販売名: コバス pro 製造販売届出番号: 13B1X00201000081

COBAS is trademark of Roche.  
©2019 Roche

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社  
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70  
<http://www.roche-diagnostics.jp>  
カスタマーソリューションセンター ☎0120-600-152

cobas®